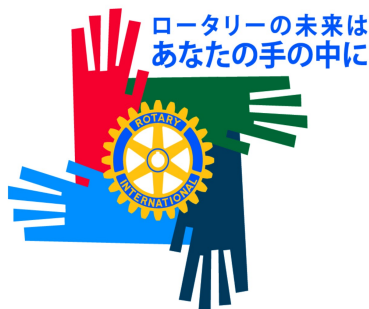




三浦ロータリークラブ 週報

2009～'10年度国際ロータリーのテーマ



- ◇ 国際ロータリー会長
ジョン・ケニー (スコットランド、グランジマウス)
- ◇ 国際ロータリー第2780地区ガバナー
奥津光弘 (秦野中RC)
- ◇ 国際ロータリー第2780地区第1グループ
ガバナー補佐 佐久間博一 (横須賀RC)
- ◇ 三浦ロータリークラブ
会長 笠倉正弘
副会長 秋本清道
幹事 菊池恵
- ◇ 広報委員会 (広報雑誌.IT)
委員長 荒宏昭
副委員長 芹川直行
事務局 山田香
- ◇ 例会日 毎週木曜日12時30分点鐘
- ◇ 例会場 三浦商工会議 3階ホール
- ◇ 例会場所&事務所住所
〒238-0243 三浦市三崎2丁目22番16号
- ◇ TEL 046(881)5111(代) * FAX 046(881)3346
- ◇ Website : <http://www.miura-rc.jp>

ニコニコBOX集計報告

	本日	前回迄	累計
ニコニコ	16,000円	281,000円	281,000円
財団	7,000円	88,000円	88,000円
ポリオ	0円	12,000円	12,000円
米山	8,000円	108,000円	108,000円
周年	0円	1,000円	1,000円
計	31,000円	490,000円	490,000円

2010年4月1日 第2362回 例会

- ◇ 点鐘 12時30分
- ◇ 国歌斉唱
- ◇ ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◇ 四つのテスト唱和
- ◇ ゲスト・ビジター紹介

本日はいらっしやいません

◇ 1. 会長報告 笠倉正弘 会長

社会福祉協議会の会長に川崎喜正さんが選出されその評議委員をRC会長が委嘱されていますし、又、川崎さんもRCの先輩OBでもあり応援？方々行ってきました。3/19が新旧交代式(マホロバ)と3/29が新年度総会でした。その席で評議委員の西崎さんと偶然にも隣り合わせでした、ご子息が歯科医院を開業して



以前から佐久間G補佐にお願いしていた会員拡大の方です！(天の声か?)

GSEメンバー5人(団長マイケル・ロイ氏)の受け入れ4/3(土)に予定どおりです

秋本さん、菊池さん宜しくお願いします。自分は通訳としてお願いしている笹谷月慧(つきえ)

さんとご一緒に横須賀からスタートします。星野会員(立花)にも協力を頼みました。

IM4/10(土)横須賀商工会議所にて11時半から登録ですのでふるって参加をお願いします。

◇ 2. 幹事報告 菊池恵 幹事

※結婚記念日お祝い

吉田 益夫	S30.	4.	24
松崎 貞男	S44.	4.	20
芹川 直行	H 3.	4.	29
秋本 清道	S60.	4.	5
北風 雄	S54.	4.	29
土田 成明	S62.	4.	29



※ロータリーの友

※第1630地区との研究グループ受入・派遣報告書

※新会員の集いアンケート結果報告

※交流 米山学友会

※ロータリー財団留学の手引き

※インターアクト台湾台北研修旅行報告書

- ※例会のお知らせ 横須賀・横須賀北・横須賀南・横須賀南西RC
- ※平成21年度ウォーナンブル市青少年派遣団受入れ事業報告書
- ※三浦市国際交流協会ニュース
- ※ロータリーカタログ (株)フジマキネクタイ
- ※薬物クリーン社会かながわ
- ※交通遺児ご支援のお願いについて
(財)交通遺児育英会
- ※研修ガイド及び研修パンフレット
中小企業基盤整備機構
- ※池田重子コレクション&岡重コレクション展のご案内



◇ 3.出席報告

吉田 益夫 委員長

会員総数 26名 本日出席 13名、
本日欠席 12名 出席率 52%
となります。



◇ 4.ニコニコBOX報告

秋本 清道 副会長

笠倉正弘 鈴木隆一会員、本日の卓話宜しく。
高木 巖 米山委員会です。皆様のご協力をよろしくお願ひします。
星野 雄 4月らしい天気となりました。先週のお花見例会楽しませて頂きました。鈴木隆一会員、卓話楽しみにしています。
芹川直行 前回欠席のお詫び。結婚祝ありがとうございます。
松崎貞男 本日早退のお詫び。結婚のお祝いありがとうございます。
吉田益夫 結婚祝いをいただくとの事で喜び一杯です。金婚式を過ぎましてどうやら元気でやっています。出来るだけ長生きをしたいものです。おかげ様で喜寿も過ぎました。
菊池 恵 お花見親睦例会御苦勞様でした。本日の卓話、鈴木さん宜しくお願ひ致します。
秋本清道 結婚祝ありがとうございます。



◇ 5.卓話 鈴木 隆一 会員

『島田紳助という男』



十数年前に漫才ブームが世間を騒がしていた時代、B&Bやオール巨人阪神・ツービート等と肩を並べて、リーゼントにつなぎを着た芸風で紳助竜介でコンビを組んで一斉風靡をしていました。その後ある日突然、テレビから姿を消したと思ったら、今や多くの番組に出演。「行列のできる法律相談所」「深イイ話」「クイズヘキサゴン」「なんでも鑑定団」等メインキャスターを務める番組は数多い。また、「M-1グランプリ」の審査委員長を務めたり、「オールスター春の感謝祭」の司会も務めている。メインキャスターばかりではなく、自らプロデュースした「クイズヘキサゴン」のボーカルユニットは、出す曲出す曲が売れ、現在、京都に新撰組というキャッチフレーズでオーディションを行い、集めたユニットは素人ながらもこれも人気を高めている。また、「行列のできる法律相談所」は法律番組なのにもかかわらず、ここで芸能人に絵画を描かせ、番組でオークションを行い、売れたお金でカンボジアに学校を作ってしまった。はちゃめちやな事が全て計画的に行っていたとしたら、島田紳助という男のプロデュース力はかなり興味があります。時代に合ったスタイル、また、時代を先行した発想は感慨深いものがあります。彼は新聞を読みません。勉強もしません。ではどうしてこのようなプロデュースを可能としているのか？それに少し触れる事から、自分自身に何か開眼できるものがあるのではないかと思います、本人が書いた書籍を参考に少しお話ししたいと思います。

彼が18歳で漫才を始めた当初、なかなかコンビを組みませんでした。誰でも最初は身近にいる奴や友達の奴とコンビを組みますが、それをしなかったのです。「漫才は遊びじゃない」と心に決め、友達と楽しくやるよりどうしたら売れるか、どうしたら世に出られるかが重要と考えたのです。

まずしたのは「教科書」を作ることでした。漫才に教科書はありません。むろん、社長さんにも教科書はありませんし、私事です支店長にもありません。これを勉強したら絶対に売れるという教科書を自ら作り出す事から、他にはないスタイルを生み出したかったのです。その頃の録音機材と言ったら大きなラジカセしかなかったので、自分が「おもしろい」と思った漫才師の漫才を片っ端から録音しまくった。テレビの前に置いたり、また、カバンにそっと忍ばせて劇場まで運んで録音したそうです。それを何度も繰り返し再生し、紙に書き出していく。これを繰り返す事から、なぜ「オモロイ」かが段々分かってきたそうです。そして出来上がった時に相方を探し始めました。自分のやりたい漫才が見えていたので、この形に合う相方

を探せばいいのだが、何度組み直しても相方が付いていけず、2・3週間で逃亡してしまう繰り返しでした。最終的には明石家さんまから「ひとり難波花月におるで」と言われ出会ったのが竜介だったそうです。最初の漫才の稽古をせず、自分の作った教科書を竜介に授業しました。「これからの時代何が売れるか」「どうやったら売れるか」「俺はこうしたい」「これをやるんだ」「俺のやり方に半年付き合ってくれ。半年経っても結果が出なかったら、俺は間違っている。そうなったらやめる」「今、自分が求めている事ができなくてもいい。できなくてもいいけど、自分が何をしようとしているか、それだけは理解してくれ」とずっと言い続けたそうです。教科書にどのような事が書かれていたのか紹介します。

最初のキーワードは

「勝てない現場には行かない」

「勝てる現場で必ず勝つ」

その頃の漫才は「子供からおじいちゃんやおばあちゃんまで笑わせなければならない」「誰でも笑わせることができるのがいい漫才」という定義がありました。しかし、「これからはそうじゃない」と書き換えました。例えば当時アリス（今はもうメンバー全てが還暦を迎えたグループ）のレコードが売れていました。しかし、アリスが日本人全員に支持されていた訳ではありません。一部に強く支持されていただけなんです。一方で日本人全員に支持されていた演歌なんかは下火になっていた。ゆえに「老若男女を笑わせようとするのはもう古い」一部に強く支持される漫才をしなければならない。本当の客を見極める必要がある。紳助が選んだのは、自分に一番近い世代「20歳から35歳の男」と設定しました。一番近い感覚で笑わせ易かったからです。逆にキャーキャー騒ぐ女の子はかえって邪魔くさかった。この女の子を笑わせにかかったら、自分たちがターゲットとした男の子は引いてしまうからです。今はそうではないが、当時は常識を打ち破った発想だったのです。

2つめのキーワードは

「X+Y」の公式確立

「X」は自分の魅力。（自分は何ができるか？）これは自分の事は自身にしかわからないのから、自分自身としっかり向き合って必死に探すこと。「Y」は世の中の流れ。これまでどんなことがあって（過去）、今どんな状況で（現在）、5年後10年後、それがどんな風が変わっていくのかを研究する。この「X」と「Y」がわかった時、初めて悩む。「さて、自分は何をしようか？」そこから「どうしたら売れるか？」「そのためにはどういう笑いを作ったらいいのか？」「X」と「Y」がわからずに悩んだって無駄な努力であると考えたのです。笑いの世界でも一発屋というのがいます。この方式が頭に入っていないから、そうし

て自分が売れたのかわかっていないから、一発で終わってしまう。売れ続けるためには、常に「X」である自分と「Y」である世の流れをぶつけて考えなければならない。そのためには、「Y」世の中の流れに合わせて、「X」自分を変化させなければならない。明石家さんまだって、世の中の変化に合わせて、少しずつ自分を変えています。傍らで見たら同じ事をやり続けているように思うかもしれないが、売れ続けているというのは気づかないくらいゆっくり変わっているという事なんです。オリンピックの体操選手の体って筋肉隆々ですごいです。体脂肪率4%。でも、水に入ったら溺れる。たぶん、野球のボールも投げられないのではないのでしょうか？体操選手は泳ぐための筋肉や投げるための筋肉はどこにも付いていないから。要は無駄な練習はいらないという事です。

3つ目のキーワードは

「同じ事をやっても絶対に勝てない」

その頃、正統派漫才では、オール阪神巨人でした。阪神のものまねをやっても絶対超えられないと悟り、考えに考えて「そうだ、悪役や」とひらめいたそうです。当初、漫才師はだれもが、ちゃんとした格好をしななければいけないという風潮があり、髪を短く切り、七三分けにスーツといったイメージが定着していた。もともと京都で不良をしていたため、それを素材に取り入れることは彼にとって容易でした。髪はリーゼント、服はスーツをやめてツナギを着ました。「本当に怖い奴なら笑えないけど、怖い奴が実はめっちゃめっちゃ弱かったら笑える」そう思うとアイデアがどんどん膨らんできたそうです。ただ、最初はそんな格好を受け入れるはずもなく、劇場へ行くたびに「なめてんのか」と怒られたそうです。昔の劇場は、正月の衣装はタキシードか紋付袴と決まっていたそうです。しかし、そんなこともおかまもなく白いツナギを着て劇場に向いたら支配人にこっぴどく怒られたが、言い訳に「このツナギは正月しか着れませんでしたので」と言って、背中に賀正とマジックで書いて舞台に立つと大いに受け、次第にだんだんと理解者が増えていきました。

4つ目のキーワードは

『絶対に売れる「企業秘密」』

島田紳助は、ニュース番組や情報番組の司会をやったり、バラエティーのフリートークなんか聞くと「頭がいい」とか「よく勉強しているな」とかいうイメージがあります。しかし、実は全然違っています。本は読まないし、新聞はとっているが読まない。また、ビデオの予約録画の仕方がわからない。ではどうして「頭が良く」我々に映るのか疑問です。実は彼は知っている事しか話さないのです。でも、知っていることを一分野でも一か所でも、人より深かったら、「何でも知っている」と人は勝手に思ってくれるところが大きなポイントと言っています。以前、テレビ朝日の朝

の報道番組「サンデープロジェクト」という番組をやっていました。報道とか言っても不勉強である彼にはよくわかりませんでした。そこで、集まったいろんな専門家に教わる事にしました。恥も外聞もなく、「選挙制度について教えてもらえませんか？」とか「構造改革って何ですか？」とか……。そこで集まった専門家は、自分の分野はもちろんスペシャリストだったため、掘り下げて教えてもらえたそうです。その知識はそこでは使わず、バラエティー番組で利用したそうです。「バラエティー」というだけあって、いろんな事をしなければなりませんし、「スペシャリスト」みたいな顔をしてなければなりません。でも、たいていのタレントなんて頭も悪いし、時間もないし、努力する事などもつての外です。ではどうしたらいいか？もう、これはほとんどペテンをやるしかありません。一分野につき一か所だけを掘り下げて、全部知っているような顔をすれば、たいていいただきます事ができると言っています。

最後にお話するキーワードは

「心で記憶する」

一分野一か所に詳しくなるなら、その一か所を本当に好きにならなければいけません。をのためには、野球だったらその選手を観に球場まで足を運ばなければなりませんし、音楽だったら、その歌手を観にコンサートまで行く必要があります。「頭」で記憶しても、すぐにボロが出ます。

島田紳助は本を読みません。本を読めば、クイズ番組には役立つかもしれませんが、でもそれだけです。しゃべり手を本職とする人には何の役にも立たないと考えているからです。しゃべり手は、本を読んで頭で記憶するのではなく、実際に体験して「心」で記憶しなければならないと言っています。「心」で記憶したことは一生忘れません。こんな例えをしています。高校を卒業して何十年と経ち、あの頃習った数学の公式なんて何一つ覚えていない。テストに出ると言って、あんなに必死に覚えたのに……。それは「頭」で覚えたからです。それに引き換え、高校の時の友達に久しぶりに会って話すと「あの時、あいつあんな事話したよな」と忘れたはずの会話が詳細によみがえってきます。それは「心」で覚えているからです。「行列のできる法律相談所」で高校時代の話が良く出てきます。これは、台本にあるものではなく、テーマがボンと出て、誰かが高校時代の話を出した瞬間、時間も場所も違うはずなのに気持ちが高校生に戻り、記憶の引き出しがバンバン開くそうです。

それでは「心」で記憶するためのコツは何か？感情の起伏を激しくすること、いつでも「感じ」なければなりません。歌を聴いて、感動して、涙を流せるようにならなければなりません。また、こうも言っています。「心」で記憶できるようになるには、やっぱり遊ばな

いといけない。「遊ぶ」というのは、風俗に行く事ではないし、飲みに行って騒ぐ事でもありません。強いというなら、色々な事に興味を持つ事が大切だと言っています。

島田紳助の教科書についてはほかにもたくさんありましたが、今日はいつまで話をさせて頂きました。今日話した事は、みなさんに漫才に興味を持ってだとか、漫才師を目指せだとかいう事ではなく、「最近、感動した事はあるかな」と少し振り返って頂ければ幸いです。

2010年3月25日 第2361回 例会

◇ 点 鐘 18時00分

◇ 会 場 三崎館支店「香花」

